

えりもしやくなげ



発行者 教育長 川上松美 (代)01466-2-2525

<http://www.town.erimo.lg.jp/section/>

[kyouiku/sg6h94000000pqh.html](http://www.town.erimo.lg.jp/section/kyouiku/sg6h94000000pqh.html)

令和7年を迎えて 『えりもの子はえりもで育てる』 を基本理念に、幼・小中・高の連携 と接続を図り取り組んでまいります

『新年あけましておめでとうございます。』

- 町民の皆様には、日頃から様々な取組に対し、教育行政へのご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。
- 令和6年を振り返りますと、日常の教育活動、学校行事、社会教育事業等、順調に進み終わることができました。
- 特に、日常の授業での児童生徒の学びに向かう姿、運動会や体育大会、学習発表会では、児童生徒の積極的な姿勢と教職員、地域の方々との連携に目を見張るものが見られました。
- これもひとえに町民皆様のご支援の賜物と重ねて感謝申し上げます。
- 令和7年においては、笛舞小のえりも小への統合に向けた諸準備の取組、えりも高校の今後を見据えた取組など、一層、えりもの教育の充実に向けて教育行政を進めてまいります。これまで同様、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

町内の小中高の先生方60名が集まる中で、初任者の中村優花教諭（えりも岬小学校教諭）による公開授業が行われました。

（えりも町学校教育研究協議会学習部A公開）



- 授業は12月5日に先生方60名が参加して行われ、2年生算数の「単元～6の段の九九」の導入部分を行い話し合いをしました。
- 中村優花先生は、えりもで生まれ、えりもで高校時代まで育ちました。その中村先生が故郷に帰ってきたのです。この度、自らの指導力を磨くため、町内の先生方が一堂に会して学び合う公開授業に挑戦しました。
- 6名の児童は、前回の授業までに学んだ「5の段、2の段、3の段、4の段」の約束や考え方を振り返り、「なるほど、4の段までの考え方と同じだ」ということを発見することができました。

- 参加した先生方は、中村先生の落ち着いた児童に寄り添う姿や授業の流し方に感心し賞賛するとともに、複式授業の難しさや指導方法の仕方について学び合いました。



2年生6名は、算数の九九「6の段」の「 6×2 はどう考えたらよいか」を、隣の友達や6名で話し合い、その訳について考えを深め出し合っていました。



8つのグループに分かれ、中村先生の授業や複式の授業の在り方、クロムブックの有効活用等について話し合っていました。

11月26日、43名が集まり、5つの部会に分かれて、3回目となる『えりも高校の未来を考える会』を開きました。えりも高校生4名も参加し、未来について意見を述べました

Aグループで出された意見

- ・生徒の受け入れる体制
- ・魅力の発信
- ・高校へ上がるときの基準を決める
- ・高校生や保護者の声を町民へ
- ・えりも高校のよさを生徒自身が感じているか、現生徒の意見を募る
- ・パンフレット等の配布
- ・他町から生徒を呼び込めるように
- ・個人種目の部活動の設置
- ・同好会や部活動の規定を変える
- ・パンフレットを高校生が作成する



Aグループ

高校の先生や学校運営協議会委員、校長、地域学校推進委員など、それぞれの立場から意見が出されました。

Bグループで出された意見

- ・中高一貫校
- ・町外からの生徒確保
- ・下宿
- ・給食実施
- ・バス・医療費等の補助
- ・尖った特色ある部活動
- ・水産科
- ・学生寮とセットで特色ある部活動はできないか
- ・無理とは思いますが、中高完全一貫校にしては
- ・他町から入学しやすい環境が必要、学生寮、給食、バス等の整備
- ・町外の人に知ってもらう、他町にアピール
- ・町の協力など、医療費免除
- ・地域の大人も学び直しができる、夜間の授業ができないか
- ・水産科は設置可能なのか
- ・PR動画を作成してYouTubeで紹介

Cグループで出された意見

- ・SNSを使ってよさをアピール
- ・海外研修をもっとアピールする
- ・地域コミュニティの拠点化
- ・風極プロジェクト同好会の取組を高校全体の取組として広げる。企業や商店とのコラボ
- ・令和11年入学生見込み
36人以下・・・、令和11年以降は町の財政維持との絡みも。えりも高校存続の大事なキーワードに
- ・地域の産業の変換による新規家庭の受入れ
- ・SNSによる高校生活のPR。その運用を生徒に任せる
- ・地域との関係をより深めるために、学校施設や設備を開放する



Cグループ

高校生も加わり、同窓会長、PTA役員、教育委員など、それぞれの立場から意見が出されました。

- ・生徒数が増えれば解決
- ・えりも高校に行くメリットは学力？
- ・外国の人の受入れ
- ・学科変更（漁業や水産にかかわるもの）
- ・地域の産業や特色の配信できるようなグループを高校内に作る
- ・外向きに宣伝
高校生の生の声。地元の人たちの声。えりも町の魅力発信。韓国旅行。子どもたちに来てもらう。少年団の誘致
- ・内向き
少人数指導。進路情報の正確な伝達

次号で、DとEグループの意見

掲載します。